

WALKING MAP

～自然の小径～

けんぶつかいがん 見物海岸と西岬地区

にしぎきちく
4kmコース

気楽に歩ける散歩道



山 館 村 休 眠 村

千葉県館山市見物725

TEL 0470-29-0211

⑨ むらさき川〔見物地区の伝説〕

村人を苦しめていた毒蛇を退治したときに流れ出た血が近くの小川に流れ、川の水が紫色に変色したと伝えられ、以後「むらさき川」と命名されました。

- 補足〔見物地区の伝説：海南刀切神社〕
見物の氏神様「海南刀切神社」にまつわるものに刀切大神が海岸の岩場を刀で岩を切り裂いて上陸したと伝えられ、その切り裂かれた岩が社殿の奥にあります。
現在の「鳩山荘松庵」裏の公園一帯は、関東大震災前は海で、近づく事ができない断崖でした。大神は丸木船で着いたと言われており、当時の丸木船は船越鉦切神社に保存されています。刀切大神の鎮座は、天延2年(974年)11月
- 補足〔見物地区の伝説：斬後(地名)〕
毒蛇を切った後(斬後)という地名が、刀切神社一帯に残されています。



～ウォーキングについて～

- ウォーキングはひとそれぞれのペースで楽しむことが大切です。
- スニーカーやウォーキングシューズなどの歩きやすい靴を着用しましょう。
- ウォーキングによって生じる疲労を回復するためには、休息をたっぷりとることが大切です。
- こまめに水分補給を行いましょう。

【距離】約4.2km 【時間】約75分

⑥ 刀切大神を祀り、昔は斜向かいにある船越

鉦切神社と一社で豊玉姫命とよたまのひめのみことを祭神としていました。天保10年に作られた狛犬や・明治に作られた拝殿向拝など美しい彫刻や、社の裏手にある名前の由来にもなっている岩の裂け目にご注目ください。
7月に行われていた「かっこ舞」は市の無形文化財となっています。



⑦ 木々の間を少し上っていくと、海神の豊玉

姫命ひなこしなたぎりを祀る船越鉦切神社があります。柵で入れませんが、本殿が建てられている鉦切洞穴は縄文時代の土器などが出土した場所で、県の指定文化財になっています。また社宝の独木船は市指定文化財です。海南刀切神社と同じく、7月にはかっこ舞が見られていました。



※船越鉦切神社
(ふなこしなたぎりじんじや)

⑧ 太田新四郎は江戸時代の塩見の人です。両親に対する孝行から、寛政7年(1795)に

領主から褒美を与えられ、昭和59年元東小学校(現：東公民館)正面にその記念碑が建てられました。



① 目の前に広がる海は館山湾です。大変穏やかで、別名「鏡ヶ浦」とも呼ばれています。

海に向かって左手が西になりますが、空気の澄んだ、特に冬には富士山をたびたび見ることができます。また、市内の北条海岸から見ると、富士山方面へ落ちる夕日がきれいです。

(日本の夕陽百選 ※北条海岸からの夕陽)



② この小さな砂浜は見物海岸と言います。夏には海水浴客で賑わうれっきとした海水浴場です。少し砂浜を歩いてみましょう。貝殻はもちろんですが、よく見ると魚の骨や、もしかすると、化石を拾うことが出来るかもしれません。



③ 見物海岸の中心にある何の変哲も無い岩場は、実は「元禄地震・関東大震災断層」です。海底から1.5mの海岸段丘崖は関東大震災、4.5mの海岸段丘崖は1703年の元禄地震で生じた隆起痕です。



④ 磯場は海中に棲む小動物にとっては、格好の隠れ場です。身を隠す小さなくぼみや狭い岩の隙間など、危険を感じると素早く潜り込んで、敵をやり過ごします。また、ウツボのように岩場の隙間に隠れ、餌となる生き物が通りかかるのをじっと待ち、目にも止まらぬ速さであっという間に食べてしまう生き物もいます。



⑤ 波打ち際には、岩が板状に並んでいる様子が目に付くようになります。また、中央に縞模様のある大きな岩も見えてくることでしょう。いずれも地殻の変動による「褶曲」(シュウキョク)作用です。さらに進むと今度は、ぽっかりと口を開けた洞窟や真ん中をくり抜かれた大きな岩があります。これらは波による長い年月をかけた浸食作用によるもので「海蝕洞窟」といいます。いずれも地球の活動による面白い光景です。